

令和6年度第1回市民会議での意見に対する市の考え方

	意見	市の考え方
1	<p>徳島市の職員数は、令和5年度まで削減しているが、令和6年度は増加している。</p> <p>類似団体の職員数と比較すると上回っている状況であるが、職員の増加は一時的なものか。</p>	<p>職員の増加は一時的なものと考えております。</p> <p>令和6年度に職員数が令和5年度と比較し増員となった主な理由は、家庭ごみ収集運搬業務において外部委託の範囲を市内4分の1から2分の1に拡大することで、職員数を減らしていく予定であったところ、入札の不調を受けて、外部委託の拡大が取りやめになったため、令和5年度、6年度で計20人の採用を行い欠員補充し、家庭ごみ収集の安定的な運用に努めたことと、定年延長に伴う採用の平準化を行ったことによるものです。</p>
2	<p>職員の増加は一時的なものであるということだが、職員数を減らしすぎると、行政サービスの水準が下がるため、計画的に人数を減らしていただきたい。</p>	<p>新プランでは、現行プランに引き続き計画的な定員管理を行いつつ、必要な部門には重点的に職員を配置できるよう、職員配置の適正化を進め、将来にわたって質の高い市民サービスを創り続けるための行財政経営の実践を目指しております。</p>
3	<p>令和7年度から令和11年度の財政収支試算では、単年度収支がマイナスになっており、充当できる基金がなくなる恐れがある。令和11年度では基金残高が71億円となっており、基金の減少が続くと予算を削減していかなければならないのではないかと。</p>	<p>今回見直した財政収支試算では、令和7年度以降収支不足が続く見込みとなっております。試算どおり収支不足が続くと、いつか基金がなくなるため、少なくとも単年度収支がプラマイゼロになる新プランを策定いたします。</p>
4	<p>マイナンバーカードの活用のように、市民にわかりやすいデジタル化を進めることは当然であるが、職員数の削減や業務負担の軽減のために、バックヤード改革を強力に進めるとよい。</p> <p>書類の回覧を電子回覧にしたり、会議のスケジュール調整にパソコンのツールを活用したりして、職員が歩き回らなくてよいようにしてはどうか。</p>	<p>新プランにおいては、人口減少に伴う少子高齢化の進行と人手不足を前提とした市民サービスのあり方を検討し、バックヤードといわれる内部業務につきましては、デジタル技術や民間活力、ノウハウを活用し、内部事務の効率化や高度化を図ることで、行政運営機能の強化や職員配置の適正化に取り組みます。</p>

	意見	市の考え方
5	<p>現行プランの取組目標にもあるが、産官学連携や圏域内市町村との連携事業にもっと踏み込み、財政収支試算の累積収支をプラスにする仕組みが必要である。他の市町村と連携することで費用が下がることもある。他市町村との話し合いには時間がかかるが、一番大きなところから考えていかないと、なかなか効果が出てこない。大きな効果が出ることを考えていただきたい。</p>	<p>これまで民間企業等との包括連携協定の締結を進め、SDGsの推進、防災・減災、子育て支援等、様々な行政課題の解決に共に取り組んできたところであり、今後も新たな企業等との連携に向けた検討を行うほか、既に協定を締結している企業等と新たな連携事業に向けた協議を行うなどして、連携事業のさらなる拡大を図ってまいります。</p> <p>また、近隣市町村とは、徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンを策定の上、国の財政支援を活用して、公共施設の広域利用など、役割分担しながら連携事業を実施しているところであり、現行の共生ビジョンの計画期間終了後の令和8年度以降についても、引き続きそうした事業に取り組んでいけるよう、次期共生ビジョンの策定について検討してまいります。</p>
6	<p>人への投資をし、職員一人ひとりの能力を高めるため、費用はかかるが、次につながる方法を考える必要がある。</p>	<p>ご意見のとおり、職員一人ひとりが最大限能力を発揮することができるよう、新プランにおいては、職員を支える職場環境の充実を図るとともに、人材育成の推進により個々の職員力の強化に取り組むことで組織全体のパフォーマンスの向上を図る必要があると考えています。</p>
7	<p>先日、家族が死亡したため、いろいろな課で手続をした。「手続が必要かもしれないので、確認されてはどうか」と他の窓口に行くよう助言してくれた課は一か所だけだった。窓口を担当している課それぞれが、他の窓口を含めた手続の流れを把握し、来庁者の手続を確認するように連携を取っていただきたい。</p>	<p>死亡届提出後の手続において、ご遺族の方の負担軽減につながるよう、令和4年4月より、「おくやみコーナー」を設置し、ほとんどの手続が1つの窓口で対応できるようにしています。今後、より一層の人材育成や、重点的な職員配置に努めていきたいと考えております。</p>

	意見	市の考え方
8	<p>先程から意見として出ているが、職員数を減らすことがよいのではなく、市民サービスを向上させるためには、それなりに人を確保しないとイケない。</p> <p>公務員の制度はよく分からないが、会計年度任用職員は何年かで辞めたり、課が変わったりしなければならないこともあると思う。制度としてあるかどうか分からないが、スキルを持った会計年度職員をそのまま正規職員として雇用する方法があるのであれば、効果的ではないかと思う。</p>	<p>本市は、人口1万人当たりの職員数を類似団体と比較すると、依然として本市の職員数が多い状況です。</p> <p>一方で行政需要は年々拡大しており、引き続き計画的な定員管理を行いながら、必要な部門には重点的に職員を再配置できるよう、職員の最適化を進めるとともに、組織体制を強化し、持続的で質の高い行政サービスを展開することを目指しています。</p> <p>また、会計年度任用職員から正規職員の転換につきましては、国より「地方公共団体の正規職員は、人事の公正の確保並びに平等取扱いの原則等の観点から、競争試験による採用が原則とされており、厳格な成績主義が求められているため、会計年度任用職員を正規職員に任用する場合には、競争試験などにより、正規職員としての能力実証を改めて行う必要がある」との見解が示されています。このため、本市においては、ご意見のような制度は設けておりません。今後も、国や他都市の状況等を踏まえ、適切に対応したいと考えております。</p>
9	<p>以前、ふるさと納税の返礼品に阿波おどりのアニメポスターがあった時、寄附額が増えたと思う。こういうふうな、徳島市の収入を増やす取組をしていただきたい。若い人に向けた違う発想を持つことも効果的ではないか。</p>	<p>新たな返礼品の開発や情報発信に取り組んできたことで、寄附額は毎年度過去最高額を更新しているところです。</p> <p>最近では、税収との相乗効果が期待できる返礼品として市内ゴルフ場でのプレー券を追加したほか、本市の魅力を存分に感じていただける阿波おどりの観覧チケットを返礼品としたことなどにより多数の寄附申込みをいただきました。</p> <p>こうした寄附額のみならず二次消費にもつながる体験型返礼品など魅力ある返礼品開発について、事業者を対象としたセミナーを開催するなどして取り組むとともに、若者にアピールできるよう、SNSも活用しながら積極的なPRに努めてまいります。</p>

	意見	市の考え方
10	<p>次の目標等を決めることになるが、内容によっては、類似団体の数値を併記できるのではないか。併記することにより、立てられた目標設定が合理的であるか、とか、今後4年間を見ていく中で、結果が出ているか、とかを資料を通して見ることができる。</p> <p>また、現行プランでは、取組項目の目標数値を「現状以下」としている取組項目があるが、どこをどのようにすると達成できたと言えるのかがわかりづらく感じる。</p>	<p>ご意見のありました類似団体の数値の併記につきましては、取り入れることができる取組項目を検討いたします。</p> <p>新プランの目標数値につきましては、いただいたご意見を参考に、分かりやすい目標数値の設定に努め、取組の見直しや改革の推進につなげていきたいと考えております。</p>
11	<p>収入源を増やさないと行けない。企業誘致を思い切って進めてはどうか。固定資産税や法人住民税、水道代等が入るので、企業誘致にはメリットがある。</p> <p>大きな企業でなくても小さな企業も誘致することで、収入が増えて、市の運営がしやすくなる。</p>	<p>現在、徳島市全体としてのまちづくりの指針となる「新たな総合計画」の策定に取り組んでいます。</p> <p>ご意見をいただきました企業誘致に関しましては、現在、雇用奨励金等の奨励措置を設けるなど取組を進めていますが、今後も、新たな総合計画の【政策2 持続可能な徳島経済の創出】の「施策8 働く環境づくりの推進」に位置付けて、取り組んでまいります。</p>
12	<p>人々の暮らしをよくするための一つの手段がデジタル化、と聞いたことがある。資料1の3ページの(3)に「今後はDXの推進を更に加速化させ」とあるが、一律にデジタル化・ペーパーレス化するのでなく、ペーパーのままのところもあってもよいと思う。</p>	<p>新プランにおいてDXの推進を加速化することで、多様なニーズに対応した行政サービスの提供が可能となり、住民や利用者の利便性向上を図ることができますが、同時に、住民や利用者の多様なニーズや状況に応じた柔軟な対応が求められると考えております。</p> <p>ペーパーレス化につきましては、デジタル化により一律に行うものではなく、ペーパーレス化による効果や必要性を検討し進めていきたいと考えております。</p>
13	<p>最近ハラスメントについて、よく耳にするようになってきた。資料2の12ページ「13 ワーク・ライフ・バランスの実現①」に、管理職（課長・課長補佐級）を対象としたハラスメント防止対策等に関する研修を実施したとあるが、新規採用者等に対象を広げて研修を実施するのもよいと思う。</p>	<p>ハラスメントに関する研修については、管理職（課長・課長補佐級）をはじめ、新規採用職員や新任係長を対象に実施しています。また、徳島県自治研修センターなどの外部機関が実施するハラスメント研修にも希望者を派遣し、意識の向上に努めています。</p>

	意見	市の考え方
14	<p>徳島市は電子申請の導入があまり進んでいないが、今後の予定はどうなっているのか。この会議資料は紙で配られているが、他の市町村での会議ではタブレットを使った。徳島市は、DXに関してまだまだ踏み込む余地があるが、そのあたりについて検討していることはあるのか。</p>	<p>電子申請については今後も多様な分野で取り入れ、市民サービスの向上を図りたいと考えています。新プランにおきましては、アプリを活用した住民通報のシステムやオンライン窓口の導入等の検討もしております。</p> <p>タブレット端末の導入につきましては、徳島市議会と一部の内部会議に既に導入し、会議資料のペーパーレス化による環境負荷の低減や事務の効率化を図っております。</p> <p>今後は、新たなデジタル技術を活用した、行政運営の簡素化及び効率化につなげていきたいと考えております。</p>
15	<p>資料1の3ページに「(4)公共施設の老朽化」とある。沖洲地域の閉園している保育所と幼稚園に雑草が膝下まで生えて、イタチとかがいて、近所の人々が迷惑している。もったいない施設だ。閉園前は、婦人会の年間行事として、保育園や幼稚園でいろんなことをしていた。前市長の時にもお願いしていたが、改善されてない。</p> <p>他市では未利用の公共施設活用のために民間活用に向けた紹介ツアーを行い、参入したい人が参加したようだ。徳島市も早急に、どうにかしてほしい。閉園している保育園や幼稚園を活用できるようにして、婦人会や更生保護女性会等に声をかけてもらいたい。利用していない公共施設を地域に開放するなど、地域住民の居場所となるような活用方法についてぜひ検討していただきたい。</p>	<p>現行プランにおいて取り組んでいる幼保再編の推進において、統廃合となった幼稚園、保育所の利活用については、まずは、施設を所管する担当部局において、有効的に利活用できるよう検討しております。</p> <p>また、未利用財産の早期処分や利活用を効果的に実施するためのサウンディング型市場調査[※]も実施しており、8つの未利用財産について活用方法を検討しております。</p> <p>また、最終的に利活用の見込みのない施設については、公募による売却や貸付を進めることで、未利用財産の削減に努めてまいります。</p> <p>委員からご指摘いただいている未利用財産についても、早急に有効活用が図れるよう検討するとともに、新プランにおいても、未利用財産の有効活用については、具体的に取り組んでいく考えです。</p> <p>※未利用財産のサウンディング型市場調査とは、本市と民間事業者等の「対話」を通じ、未利用財産の早期処分及び利活用等の事業に対する様々なアイデアや意見を把握する調査のことです。</p>

	意見	市の考え方
16	<p>資料2の1ページ「1 市政情報の積極的な発信⑤」によると、SNSのフォロワー数は目標数よりも多いが、既読管理ができるSNSについては閲覧数を確認する方が、実際にSNSを活用してみて有効であったかどうかという評価ができると思う。</p> <p>SNSは、ライン、X、フェイスブック、インスタグラム、マチイロ等ある。SNSごとに登録年齢層が違う。登録している年齢層と既読数等を含めて精査し、公式アカウントの開設が有料なら開設を止めて、経費を削減してはどうか。いろいろなSNSを開設する風潮にあるが、全てのSNSを開設しなくてよい。</p>	<p>新プランでは、取組の有効性がより把握できるような取組目標及び目標数値の設定を検討してまいります。</p> <p>また、SNSについては、本市独自の機能拡張を行う場合等を除き、開設にあたっての経費は要していませんが、SNSそれぞれの特徴や利用者層等を勘案しながら、県内外の様々な年代の方々への効果的・効率的な情報発信に取り組んでまいります。</p>
17	<p>現行プランの取組項目のうち、既に達成している、又は今後、達成する見込みの取組項目があると思うが、達成したもので、今回で終わりとせず、重要な取組項目は、新たな行財政運営計画でも継続していただきたい。</p>	<p>現行プランの取組項目については再検討を行うとともに、質の高い市民サービスを創り続ける行財政経営を実践するための取組項目は、新プランにおいても、継続して取り組んでまいります。</p> <p>具体的には、財源の確保に係る取組項目と持続可能な市民サービスの提供を行うための行政サービス水準の適正化や市民の利便性向上に係る取組を継続します。また、行政運営機能の強化に取り組むためとして、職員配置の適正化や内部事務の効率化なども継続します。</p>
18	<p>先程出た意見であるが、財源も限られているため、広く浅くではなく「選択と集中」の観点から、大きな効果が出そうな施策に対して重点的に取り組んでいくというのも一案ではないかと思う。</p>	<p>新プランでは、総合計画に掲げる将来像の実現に向け、それを支える健全な行財政基盤の確立と持続可能な市民サービスの構築を目指し、取組項目を絞って効率的な取組に重点的に取り組むこととします。</p>
19	<p>資料2の3ページ「4 市民参加の機会拡大」の取組指標にある「Xの一投稿当たりの「いいね」の件数」が少ない。「投稿の内容がフォローしている人にマッチしているか」「リポスト（旧リツイート）した方がよいと感じる内容であったか」等を精査し、発信してはどうか。</p>	<p>新プランでは、取組の有効性がより把握できるような取組目標及び目標数値の設定を検討するとともに、SNSそれぞれの特徴や利用者層等を勘案し、投稿内容を精査しながら、効果的・効率的な情報発信に取り組んでまいります。</p>

	意見	市の考え方
20	<p>資料1の7ページに記載の通り、現在新たな総合計画の策定に向けて別会議にて議論が進められている。本行財政運営計画も、その総合計画との整合性を確保すべく、調整をいただきたい。両計画の検討が同時に進められているため、新総合計画策定の会議では、必ずしも本行財政改革会議における検討状況を踏まえて議論されているわけではないと推察されるし、その逆も然りである。総花的な方向性にならざるを得ない総合計画と、選択と集中等を求めることとなる本計画との整合性をチェックしつつ、齟齬のない計画策定を行うことが、今後の市政運営にとって重要であると思われる。</p>	<p>資料の中で、新プランの位置づけにもありますが、総合計画に掲げるまちづくり・将来像を実現するために、必要な財源の確保や行政運営機能の強化を図り、総合計画の施策を下支えするのが新プランの役割であり、財源を確保するためには、新プランではスクラップ・アンド・ビルドにより事業を精査していく必要があります。</p> <p>こうした中で、ご意見のとおり、総合計画の中で充実を図るとしている施策が、新プランで見直しの対象の施策になるなど、相反する計画にならないよう、しっかりと整合性を図ります。</p>